



設立50周年を祝って

羊蹄山ろく消防組合倶知安消防団 団長 瀬尾 武志

「防管第23号」の発刊を心よりお祝い申し上げます。昭和44年以来、防火に対する高い意識を持ち継続し今年で設立50周年の大きな節目を迎え長い歴史を刻まれたことは大変喜ばしいことです。

さて、現在倶知安町は急成長を遂げております。夢にまで見た新幹線事業により新倶知安駅開業へ向けてトンネル工事が始まり、また高速道路延伸事業で平成30年度中には余市町にICができ、数年後には倶知安ICができるとのことです。さらには、平成31年度にはG20サミットを控え、その翌年には東京オリンピックが開催されます。町内の至る所で工事関係者が出入りし、年々増加する観光客へ向けた新たな建築物や、事業所、新サービス等とどまるところを知らない状態です。

また、年々外国人観光客が増加する中、安心安全を認められて倶知安町に各国の要人VIP達を訪れるようになり世界中から注目される地域となりました。これも日々着実に防火管理に努め大きな災害を未然に防いでいる現状を世界からも広く認められている証拠ではないでしょうか。防火管理は、ハード面である消防用設備だけではなく、ソフト面の防火管理も相まって成し得るものですから、倶知安町の防火管理体制はレベルが高く世界に通じる水準であると言っても過言ではありません。

消防団の消火活動も同様です。最新の消防車やポンプが整備されていても使う人の能力が低くは迅速で的確な消火はできません。防火管理も同じく建物の消防用設備が充実していても道具を使う人とその教育が重要となります。

災害に立ち向かうには、日々の鍛錬が重要となります。そして、隅々まで行き届いたサービスには防火管理も含まれており、最終的に人間を守るのは人間です。季節を問わず活発さを増す倶知安町。より一層、防火管理の重要性が増してきている時代とも思えます。

結びに、設立以来永年にわたりご尽力いただいた貴協会の更なるご発展を心よりお祈り申し上げてお祝いの言葉とさせていただきます。